



2022年10月12日

各 位

会社名 株式会社プラップジャパン
代表者名 代表取締役社長 鈴木 勇夫
(東証スタンダード・コード2449)
問い合わせ先 取締役管理本部長 白井智章
(電話03-4580-9111)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年10月15日に公表した2022年8月期（2021年9月1日～2022年8月31日）の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2022年8月期の連結業績予想（2021年9月1日～2022年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,800 ～6,800	百万円 320 ～420	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想 (B)	6,274	439	—	—	—
増減額 (B-A)	474 ～△525	119 ～19	—	—	—
増減率 (%)	8.2% ～△7.7%	37.4% ～4.7%	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年8月期)	8,211	312	336	140	34.82

2022年8月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しており、(ご参考)前期実績の売上高は当該基準適用前の実績値を記載しております。

(2) 修正の理由について

2022年8月期の業績予想については、新型コロナウイルス感染症の影響によって不透明な事業環境の継続が予想されることに加えて、中長期的な業績拡大に向けた投資を、事業環境や投資機会等を踏まえ、機動的かつ柔軟に実行する予定にしていることから、レンジでの見通し開示としていました。

2022年8月期の連結売上高は、ヘルスケア、IT、危機管理広報コンサルティング、デジタルマーケティング等、クライアントのニーズの高い各種案件の受注が増加したものの、「収益認識に関する会計基準」等の適用の影響等を受け、最終的に予想レンジの範囲内に収まる見込みです。

2022年8月期の連結営業利益は、デジタルソリューション事業におけるセグメント利益の拡大等により、下限の予想値から30%以上増加する見込みです。

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づいており、不確実な要素を含んでいます。また、実際の業績等は業績の変化等により、上記業績予想値と異なる場合があります。

以 上